

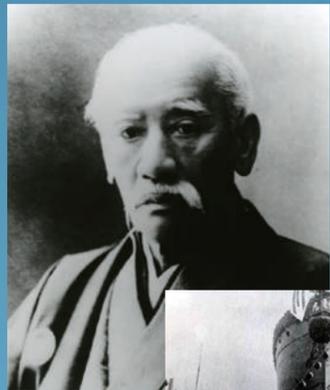
Value Creation

川崎重工 | 挑戦のあゆみ

パイオニア 先駆者であり続ける

「そのわざを通じて国家社会に奉仕する」——創業者 川崎正蔵の精神を受け継ぎ、常に「今、求められることは何か」を問い続け、新技術に挑み、新たな解を導き出してきました。数々の日本初、世界初は、いつの時代も挑戦者であり続けた私たちの証しです。

Q.
日本の近代化に
何ができるか？



A. 1878
創業者の川崎正蔵は、1878年東京・築地に当社の起源となる川崎築地造船所を開設

Q.
鉄道輸送インフラの
海外依存から脱却する
チャレンジとは？



A. 1911
国産化第1号蒸気機関車を完成させ、1971年までに計3,237両の蒸気機関車を製作して、日本の鉄道の普及、充実に貢献

Q.
近代化とともに活発化した
人の往来を、速く快適に
実現するには？



A. 1964
0系新幹線電車を国鉄に納入。「夢の超特急」と呼ばれた新幹線電車は東京～大阪間を4時間で営業を開始(1年後に3時間10分に短縮)

Q.
ライダーに
もっと走る喜びを
届けられないか？



A. 1972
モーターサイクル「カワサキ900スーパー4」、通称「Z1」を発売。世界でも類を見ない高度メカニズムで、ロングセラー製品に。

Q.
マーケットに必要と
されるヘリコプタを開発
できないか？



A. 1979
国際共同開発により、日本初のヘリコプタ「BK117」を開発。高い安全性と安定した操縦性を備え、多用途に利用される。

Q.
長年の悲願、英仏をつなぐ
海底トンネルの実現に
必要なものとは？



A. 1991
1987年に英仏海峡海底鉄道トンネル向けにトンネル掘削機を受注。厳しい条件に応え、掘削に成功し、トンネルが貫通

1900

1960

1970

1980

2000

Q.
新たな輸送手段として日本の
“空”を切り拓くためには？



A. 1922
当社初の航空機(乙式一型偵察機)を完成させ、飛行試験を行った。性能が優秀と認められ、1927年まで300機を製造

Q.
高度経済成長期の
労働力不足を解消
するには？



A. 1969
省力機械や省力システムの開発と生産を目指し、日本の産業用ロボットのパイオニアとして日本初の国産産業用ロボット「川崎ユニメート2000型」を誕生させた。

Q.
工場のエネルギー利用を
効率化することは
できないか？



A. 1976
日本で初めて国産ガスタービン発電設備「PU200」を完成。独自の技術で日本の産業用ガスタービン分野を切り拓いた。

Q.
どうすれば新しいエネルギー
を運び、貯めることが
できるのか？



A. 1981
タンカーブームに対応する一方、一層付加価値の高い造船分野についても研究開発を進め、日本初のLNG運搬船を完成させた。

Q.
エネルギーの有効利用と
環境負荷の低減を
実現するには？



A. 2007
「カワサキグリーンガスエンジン」が世界最高の発電効率48.5%を達成

